



2026年3月期 2Q 連結
アナリスト向け決算説明会

2025年11月6日



1 決算のポイント



1.1. 第2四半期までの主な取り組み

■ 組織および体制関連

□ 4月1日付組織再編

- ・ 「自動車・輸送機器」分野における開発力・提案力の強化を目的として、「インダストリアルビジネス本部」を再編し、「モビリティDXビジネス本部」を新設。
- ・ 営業力の強化を目的として、「マーケットディベロップメント本部」を新設。
- ・ 当社事業の全方位的な推進力を強化するため、執行役員を充実化し体制整備。

□ 4月1日付で、当社の連結子会社である(株)クレスコ・ジェイキューブが、統合によるシナジー効果の最大化とビジネスの拡大を目的として、同社の子会社である(株)高木システムを吸収合併。

□ 7月9日 新開発拠点“Teq-C”を開設。

□ 8月25日 当社の連結子会社であるクレスコ北陸(株)が、製造業向けシステム開発を得意とする(株)エイプスの買収を決議。

□ 9月9日 当社の子会社である(株)クレスコ・ジェイキューブが、IBMiビジネスに強みを持つ(株)アイエステクノポートの買収を決議。

■ 事業関連

- 当社の連結子会社である(株)アイオスが、三菱UFJ信託銀行(株)との間で、システム開発とそれに付帯関連する業務におけるIT技術者の長期的、安定的な確保を目的として、2025年5月1日より10年間のパートナーシップ基本合意書を締結。
- 8月 Sonar社（スイス）とビジネスパートナー契約を締結。国内初の「SonarQubeゴールドリセラーパートナー」となり、「Trust Code Hub」の提供を開始。

1 決算のポイント

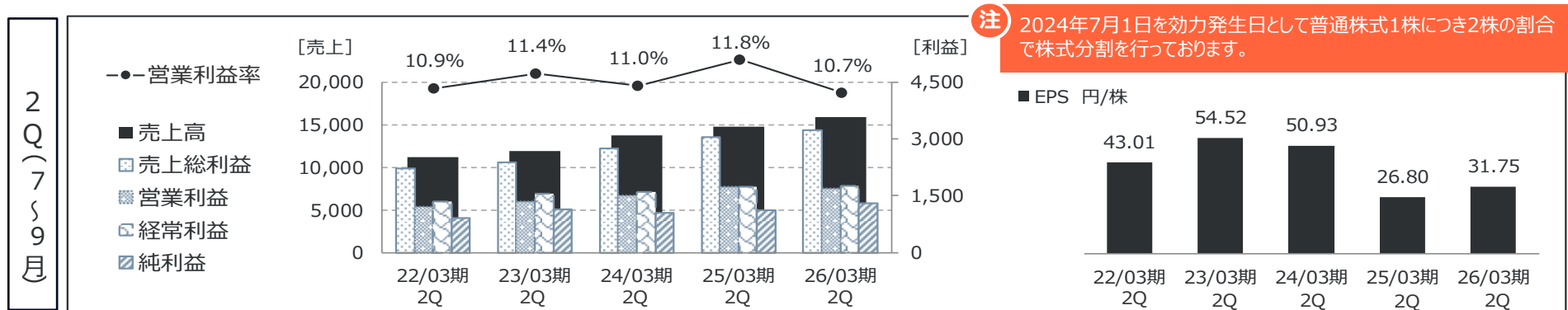
1.2. 売上高・利益

【注】（ ）内の数字は各々の利益率を表します。
 【注】「純利益」は「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」です。

[単位：百万円未満切捨]

- 米国による保護主義的な通商政策発表をきっかけに、国内企業の業績の先行き不透明感が強まり、一部の業種ではIT投資抑制の動きもみられる。但し、デジタルソリューション関連分野への引き合いが増加、新規連結効果もあり、前年同期比8.6%の増収。
- 不採算プロジェクトもあり営業利益は同4.3%増益、金融収益減少で経常利益も同3.8%増益にとどまる。
- 資本コスト経営の観点から投資有価証券を一部売却、売却益3億円。当期純利益は同9.3%の増益。

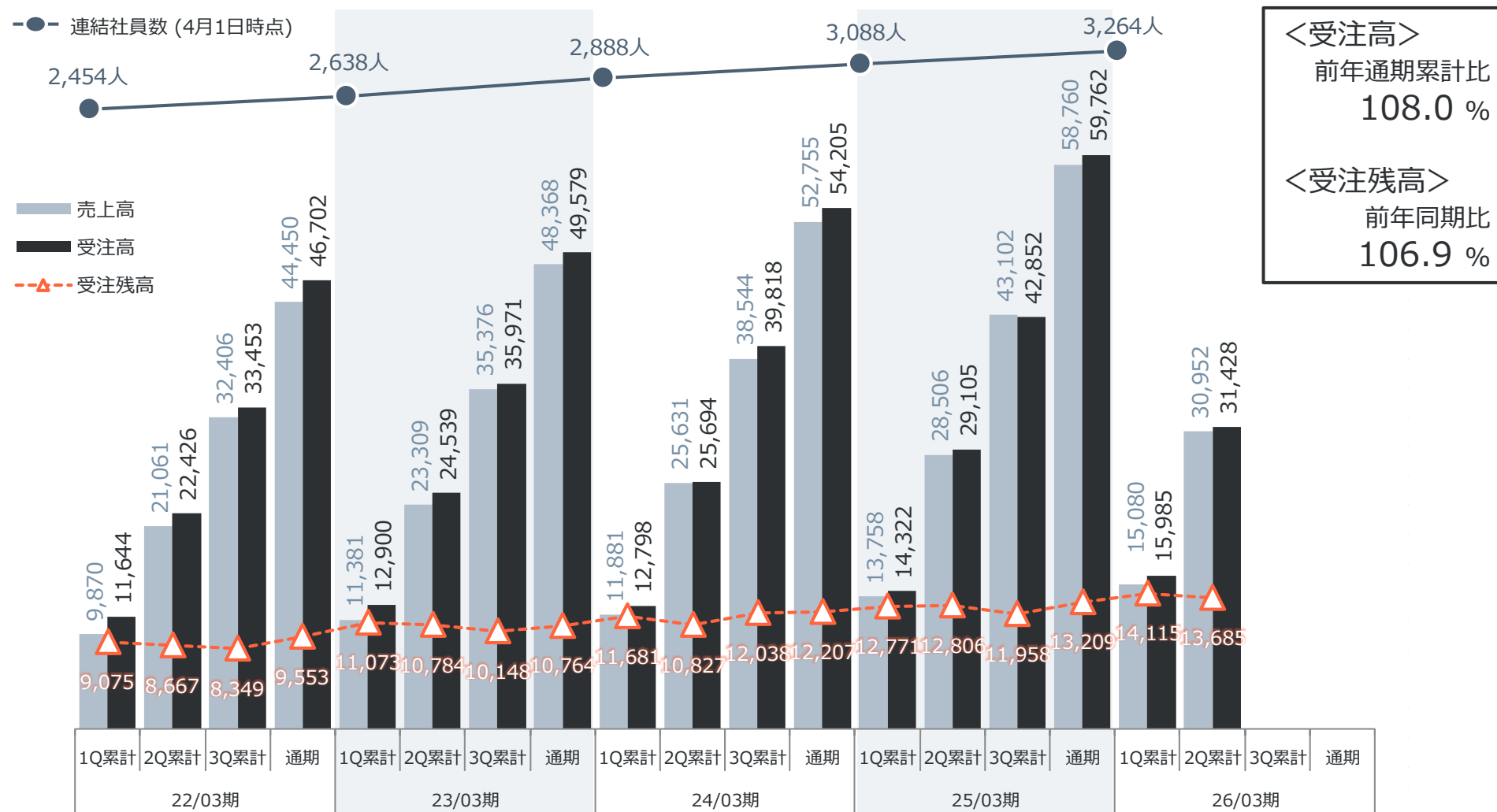
										2Q累計 業績予想		
2 Q 累 計		24/03期		25/03期		26/03期		前年 同期比	対 2 Q累計 達成率	25/5/9 予想		前年 同期比
	売上高	25,631		28,506		30,952		108.6%	99.5%	31,100		109.1%
	売上総利益	4,677	(18.3%)	5,544	(19.5%)	5,981	(19.3%)	107.9%				
	営業利益	1,978	(7.7%)	2,608	(9.2%)	2,720	(8.8%)	104.3%	94.8%	2,870	(9.2%)	110.0%
	経常利益	2,440	(9.5%)	2,763	(9.7%)	2,867	(9.3%)	103.8%	99.2%	2,890	(9.3%)	104.6%
	純利益	1,665	(6.5%)	1,879	(6.6%)	2,054	(6.6%)	109.3%	105.3%	1,950	(6.3%)	103.8%
	EPS 円/株	40.03		45.60		50.18				47.58		





- 受注高は前年同期比+8.0%、受注残高同+6.9%と、堅調に推移。
- 米国の保護主義的な通商政策へ警戒感等から、一部に投資抑制の動きは見られたものの、企業のDX推進ニーズは依然堅調。

[単位：百万円未満切捨]

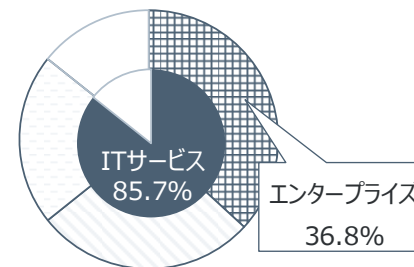




1.4. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：エンタープライズ]

セグメント	サブセグメント
IT サービス	・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス エンタープライズ
	情報・通信、広告、流通サービス、運輸、 人材紹介・人材派遣、公共、資源・エネルギー、 建設・不動産、旅行・ホテル、医療・ヘルスケア、その他

<セグメント別の売上高比率:2Q(7～9月)>



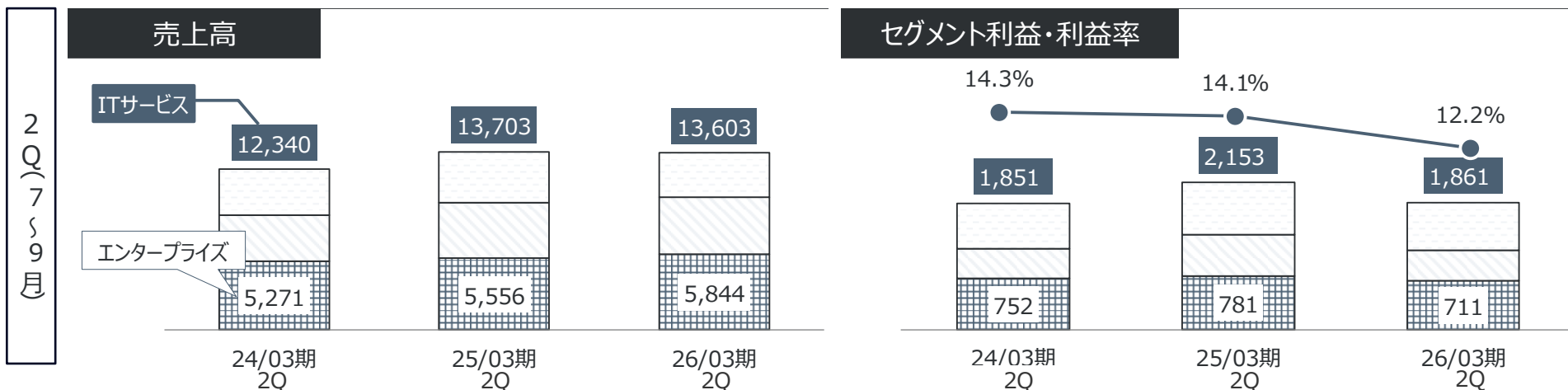
■ 売上高：112億79百万円（前年同期比 6.1% ↑）

- 「情報・通信・広告」分野において当社及び一部の連結子会社でアプリケーション開発支援業務が増加したため。

■ セグメント利益／利益率：12億79百万円／11.3%（前年同期比 17.0% ↑）

- 売上高の増加に加えて、前年同期に「人材紹介・人材派遣」分野において発生していた当社の不採算プロジェクトが収束したため。

[単位：百万円未満切捨]

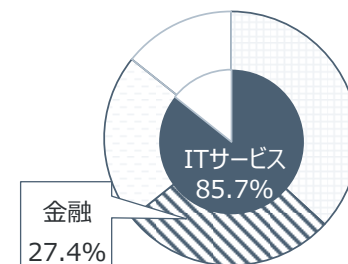




1.5. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：金融]

セグメント	サブセグメント
ITサービス ・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス	金融 銀行、保険、その他

<セグメント別の売上高比率:2Q(7~9月)>



■ 売上高：84億72百万円（前年同期比 0.4% ↑）

- 「銀行」分野において連結子会社の受注が増加したものの、「保険」分野で当社の受注が伸び悩んだため。

■ セグメント利益／利益率：8億49百万円／10.0%（前年同期比 26.3% ↓）

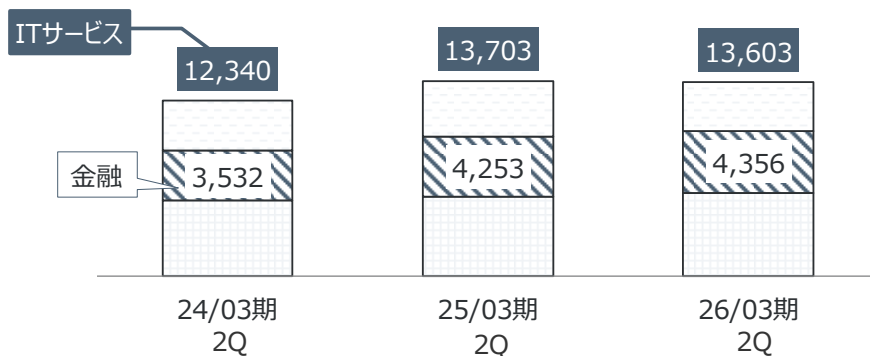
- 「銀行」分野において大型案件の受注が伸びなかったこと、「その他」分野において一部の連結子会社で不採算プロジェクトが発生したため。

[単位：百万円未満切捨]

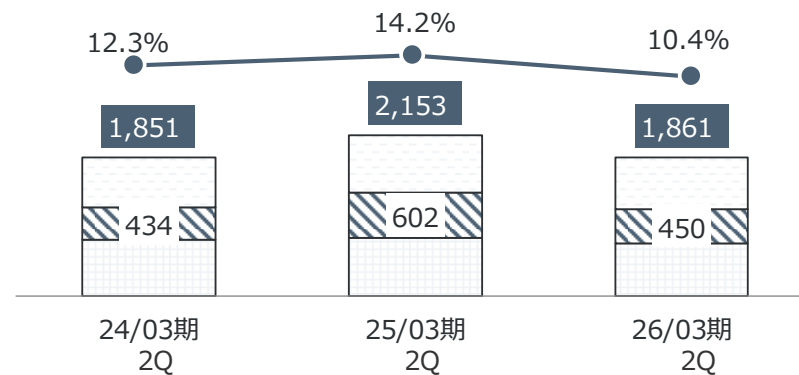
2
Q
累
計

2
Q
(
7
~
9
月)

売上高



セグメント利益・利益率

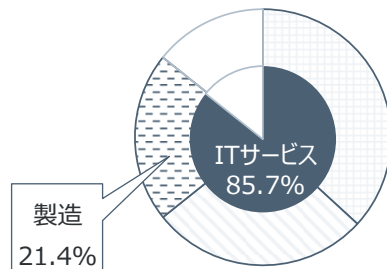




1.6. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：製造]

セグメント	サブセグメント
IT サービス	・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス
	製造 自動車、輸送機器、機械、エレクトロニクス、その他

<セグメント別の売上高比率:2Q(7～9月)>



■ 売上高：67億81百万円（前年同期比 8.7% ↓）

- ・「機械・エレクトロニクス」分野におけるメーカーの製品開発プロジェクトの中止や延期の影響を大きく受けたため。

■ セグメント利益／利益率：11億56百万円／17.1%（前年同期比 9.6% ↓）

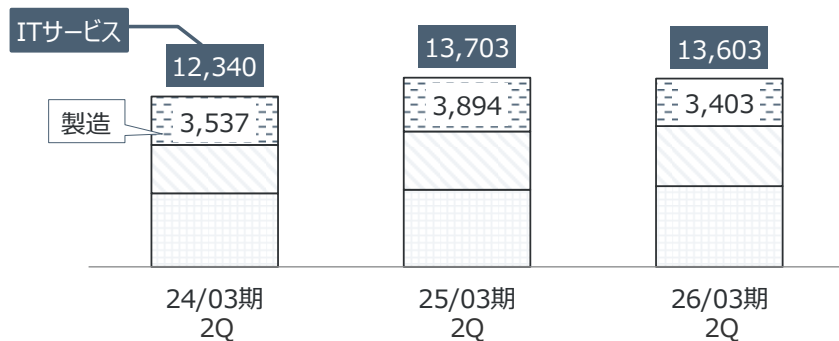
- ・売上高の減少に加え、「自動車・輸送機器」分野において一部の連結子会社で収益率の高い案件が減少したことによるもの。

[単位：百万円未満切捨]

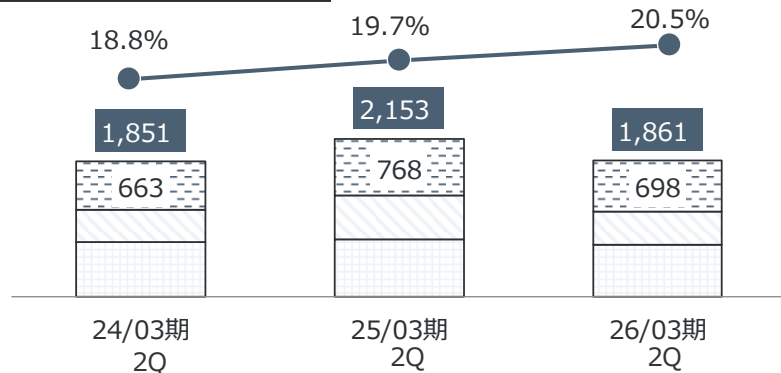
2
Q
累
計

2
Q
(
7
～
9
月)

売上高



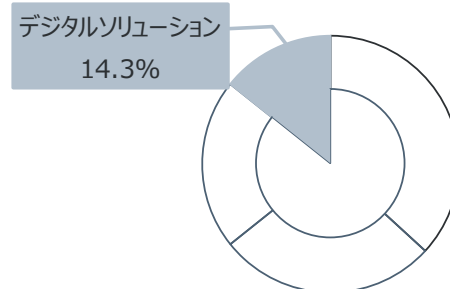
セグメント利益・利益率



1 決算のポイント ✨ 1.7. セグメント別売上高・利益 [デジタルソリューション事業]

セグメント	事業
デジタルソリューション	顧客のDX実現を支援する製品・サービスからなるソリューション群 ＜主な製品・サービス名＞ Creage：クラウド関連サービス UiPath：RPA関連サービス ERP導入関連サービス 教育・セミナー：AI、クラウド、RPAなど

＜セグメント別の売上高比率:2Q(7～9月)＞



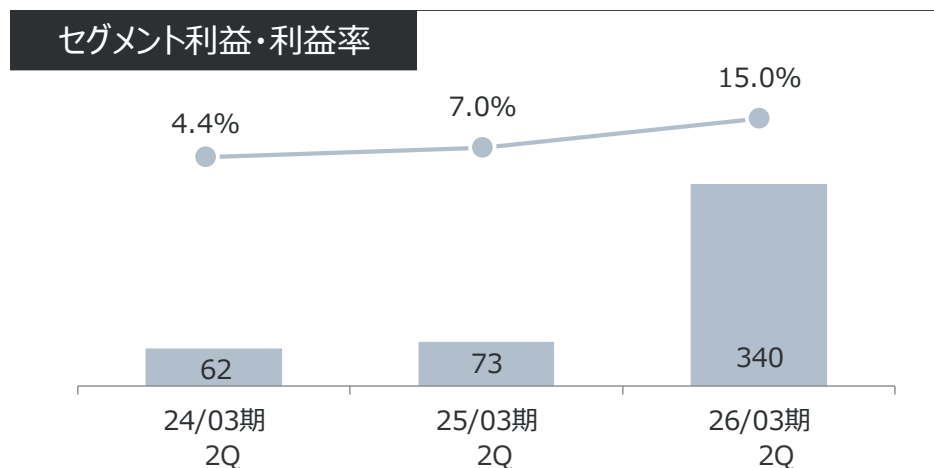
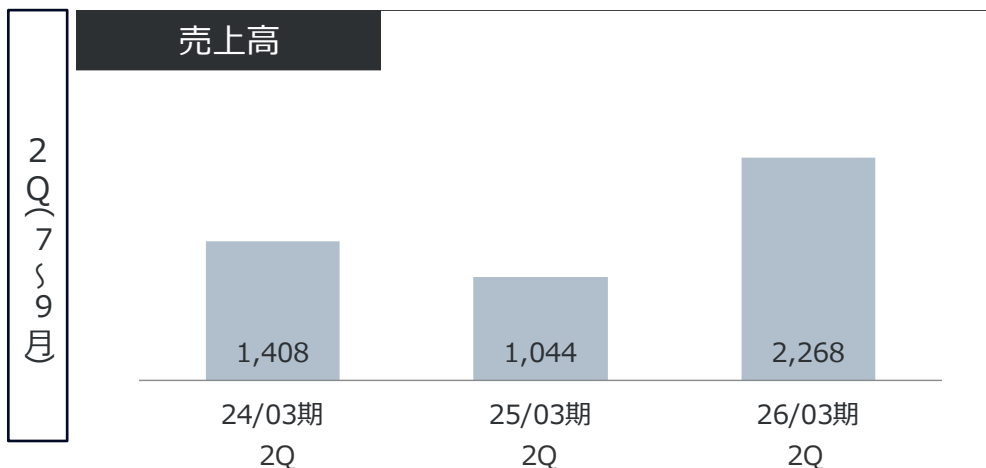
■ 売上高： **44億19百万円**（前年同期比 **119.6%** ↑）

- ・ 基幹システムの導入を主力事業とする(株)高木システムを新規連結した効果に加えて、当社及び一部の連結子会社において、製品・ライセンスの販売及び導入支援が大幅に増加したため。

■ セグメント利益／利益率： **5億1百万円／11.3%**（前年同期比 **508.2%** ↑）

[単位：百万円未満切捨]

- ・ 売上高の増加と同様の理由によるもの。





2 2026年3月期の見通し



- 2025年5月9日公表の2026年3月期連結業績予想（2Q累計及び通期）に**変更なし**。
- 今後の状況や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示。

[単位：百万円未満切捨]

通 期	25/03期						26/03期		
	24/5/10 予想	前年 同期比	実績	前年 同期比	達成率		25/5/9 予想	前年 同期比	2Q時点 進捗率
	売上高	58,500	110.9%	58,760	111.4%	100.4%	64,000	108.9%	48.4%
	売上総利益			11,779 (20.0%)	114.0%				
	営業利益	5,900 (10.1%)	115.2%	5,983 (10.2%)	116.8%	101.4%	7,000 (10.9%)	117.0%	38.9%
	経常利益	6,000 (10.3%)	106.0%	6,290 (10.7%)	111.2%	104.8%	7,140 (11.2%)	113.5%	40.2%
	純利益	4,000 (6.8%)	107.3%	4,405 (7.5%)	118.2%	110.1%	4,900 (7.7%)	111.2%	41.9%
	EPS 円/株	96.99		106.89			120.95		

【注】（ ）内の数字は各々の利益率を表します。「純利益」は「親会社に帰属する当期純利益」です。



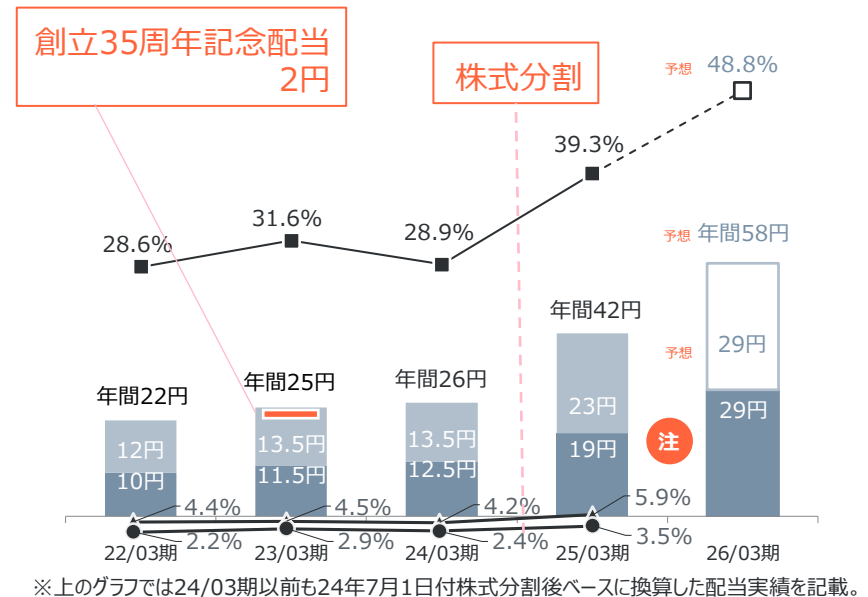
- 株主還元方針に則った配当を継続。
- 2025年5月9日公表の、2026年3月期の配当目標「**58円**」に変更なし。

	24/03期	25/03期	26/03期		
	実績	実績	実績	25/5/9 予想	増減
中間	25円	19円	29円	29円	10円
期末	27円	23円	—	29円	6円
年間	52円	42円	29円	58円	16円
配当性向	28.9%	39.3%	—	48.8%	9.5%
配当利回り	2.4%	3.5%	—		
DOE	4.2%	5.9%	—		
配当金の総額	1070百万円	1731百万円	—		

[配当金の総額：百万円未満切捨]

株主還元方針

- 当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を維持することを基本方針としております。
- 特段の株主優待は行っておりません。
- 配当に関しましては、
(24/03期まで) 原則、連結経常利益をもとに、特別損益を零とした場合に算出される親会社株主に帰属する当期純利益の30%相当を目途に継続的に実現することを目指してまいります。
(25/03期) 原則、**親会社株主に帰属する当期純利益の40%**を目途に継続的に実現することを目指してまいります。
(26/03期より) 原則、**親会社株主に帰属する当期純利益の50%**を目途に継続的に実現することを目指してまいります。



注 2025年5月9日に公表した、以下の方針に従い、株主還元策を検討・実施しています。

- 2026/3期中間期より、新たな配当方針（配当性向40%から50%に引き上げ）に基づき配当額を決定してまいります。
- 2025年5月12日から11月28日まで、「合計1,000,000株または15億円」を上限に、自社株買いを実施します。→5月12日～10月27日に実施済みです。



ご参考



1) 連結子会社の変遷

	2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
クレスコ・イー・ソリューション	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クレスコワイヤレス	【※7】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アイオス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クレスコ北陸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
シーサリー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クレスコ・デジタルテクノロジーズ	【※2】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
メクゼス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
エヌシステム	【※3】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ネクサス	【※3】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
アルス	【※3】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クレスコ・ジェイキューブ	【※3】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クレスコベトナム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
エニシアス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
クレスコ・ネクシオ	【※1】【※5】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
日本ソフトウェアデザイン	【※4】【※8】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ジェット・テクノロジーズ	【※6】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
子会社総数	12	13	13	13	13	11	11	12	12	12	12	12	13	11	11	11	11	11		

【※1】 2021年7月1日付けで「(株)OEC」を子会社化

【※2】 2022年5月1日付けで「クリエイティブジャパン」は「クレスコ・デジタルテクノロジーズ」に商号変更

【※3】 2022年7月1日付けで「アルス」は「エヌシステム」「ネクサス」を統合

【※4】 2023年2月1日付けで「日本ソフトウェアデザイン(株)」を子会社化

【※5】 2023年10月1日付けで「OEC」は「クレスコ・ネクシオ」に商号変更

【※6】 2024年4月1日付けで「ジェット・テクノロジーズ(株)」を子会社化

【※7】 2024年6月14日付けで「クレスコワイヤレス」の株式譲渡

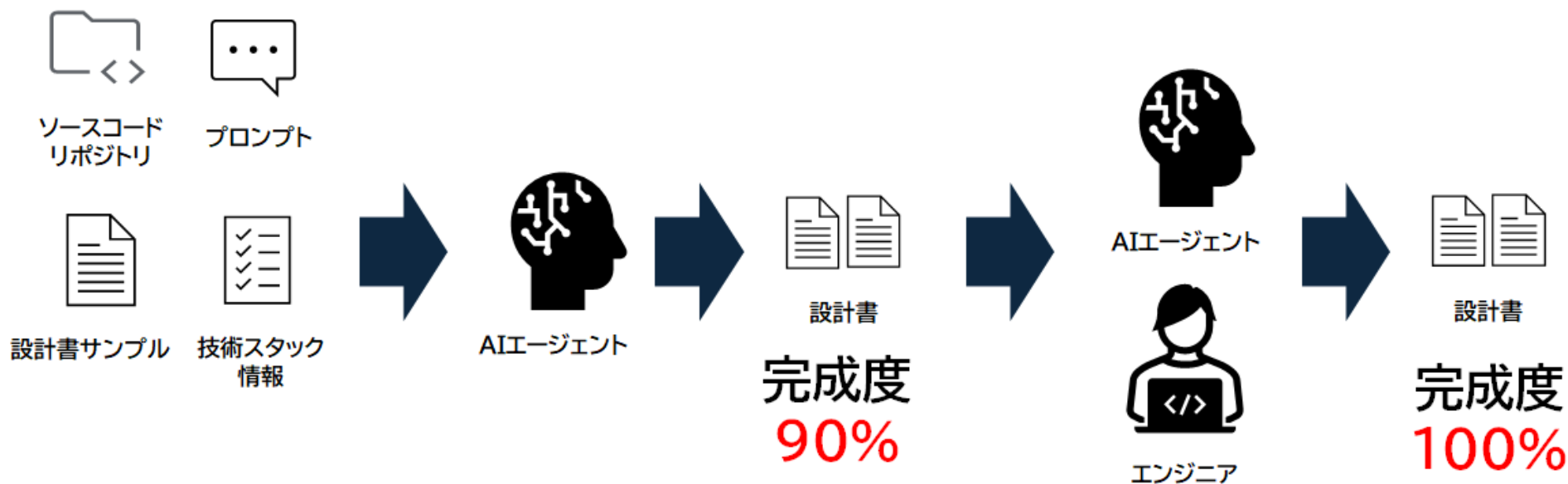
【※8】 2024年7月1日付けで「メクゼス」が「日本ソフトウェアデザイン」を統合

- リバースエンジニアリング案件で生成AIを活用。**初版で完成度90%（当社実績）の設計書自動作成を実現。**残り10%をエンジニアが仕上げることで、当該作業の大幅な効率化を実現しました。



（11月4日付ニュースリリース）

<https://www.cresco.co.jp/ja/news/news-7931549844289912211.html>





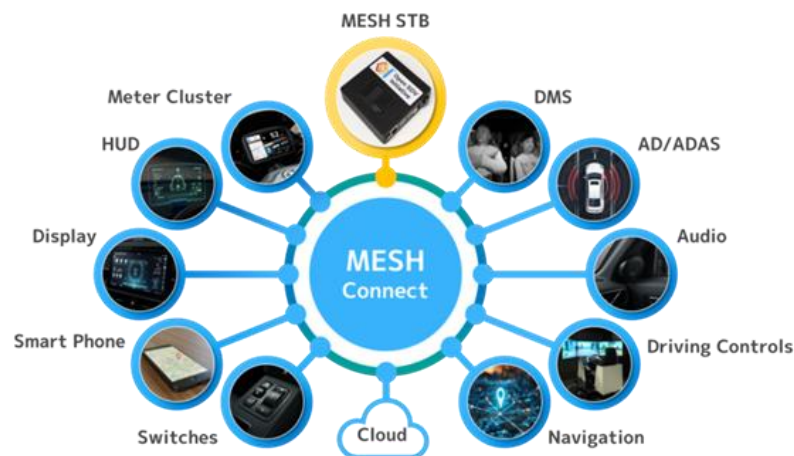
未来のモビリティの価値を創造する
Mobility Experience Simulation Hub

- 政府の「モビリティDX戦略」実現のために設立された「Open SDV Initiative」が提案する、**SDV体験シミュレーション環境「MESH」**の開発に参画しています。

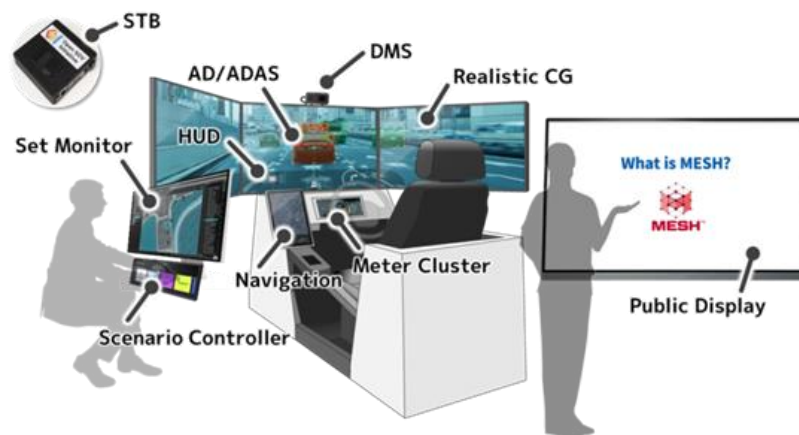


(9月25日付ニュースリリース)

<https://www.cresco.co.jp/ja/corpinfo/news/news8986886098766467613.html>



MESHの構成



MESH実機

- 新たな開発拠点“Teq-C”を開設。社員の働きやすさやコミュニケーション活性化を徹底的に追求しました。社員のモチベーションと能力を最大限引き出し、生産性の飛躍的な向上や斬新なサービスの創出を図ります。



(7月9日付ニュースリリース)

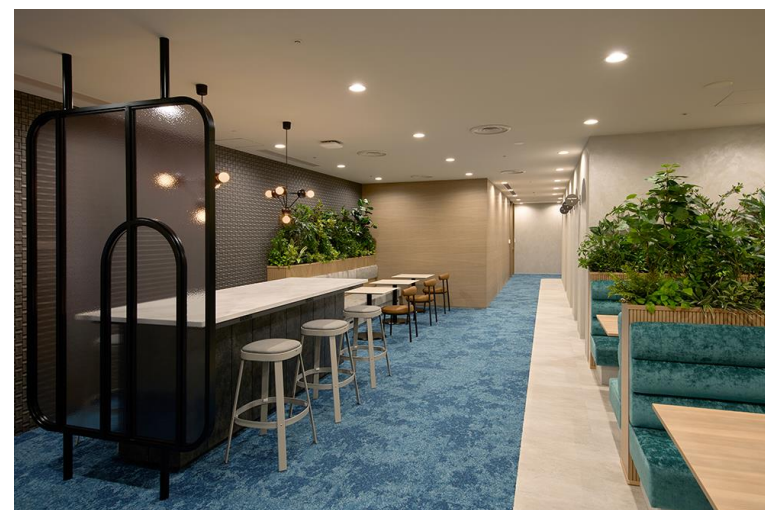
<https://www.cresco.co.jp/ja/corpinfo/news/news9192629985100692812.html>



一人用集中作業スペース



解放感のある打合せスペース

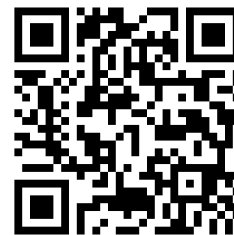


ゆっくり疲れを癒せるカフェスペース

ご参考 5) 経営ビジョンと中期経営計画の詳細URL



【注】コーポレートロゴ変更に伴い、イメージ画像を変更しました。内容に変更はありません。



「経営ビジョン」の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ja/corpinfo/vision.html>



「中期経営計画2026」の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ja/ir/operation/plan.html>

中期経営計画

(2024年度～2026年度)

2024年5月10日

CRESCO 

株式会社クレスコ





6) 中期経営計画2026_7つの戦略_取り組み状況

成長戦略	2025年度の取り組み方針	第2四半期までの取り組み状況
共創型モデルの確立	・アカウント別戦略推進 ・顧客の企業価値を向上させる提案力強化	・アカウント別戦略の実行、および戦略パートナー候補対象の明確化 ・提案力強化含めた部長級教育の実践
品質リーダーシップ発揮	・継続した全社品質活動による不採算PJ撲滅 ・リスクマネジメント・指摘事項のトラッキング強化	・継続活動で不採算PJの大幅減少を実現 ・指摘トラッキング強化に向けた分析実施
人的資本経営推進	・プロセスを見直し更なる採用強化 ・エンゲージメント向上に向けた各種施策の強化	・採用強化による新卒採用数の目標達成 ・3年連続 ホワイト500認定継続
技術・デジタルソリューション(DS)の拡張	・DSビジネス拡張 ・顧客へのソリューション提案推進	・DSビジネス拡張でDS利益率の大幅改善 ・新規DSリリース(Trust Code Hub)
事業連携促進	・ビジネスパートナー(BP)との関係性強化 ・アライアンスパートナーとの提案・連携実績創出	・既存BPの継続率向上施策の検討と推進 ・ビジネスマッチする企業選定・アプローチ開始
デジタル変革実現	・データ分析基盤の構築・活用 ・生成AI活用による開発生産性向上	・データ分析基盤の構築(10月リリースへ) ・Copilot定常ツール化への教育強化
グループ一体経営	・Gr戦略アカウント・営業連携推進 ・コーポレート機能集約化の推進	・連携強化に向けたGr共同研修実施 ・生成AIのGr導入支援を開始

ご参考 ✖ 7) 日本経済新聞に全面広告を掲載

- 2017年からスポンサーとして支援している金澤志奈プロが、メジャー大会である日本女子プロゴルフ選手権大会で、JLPGAツアー初優勝を成し遂げました。
- 当社は、金澤プロ初優勝を祝し、**日本経済新聞に全面広告を掲載**しました（9月17日付）。



（ご参考）クレスコ本社を訪問し優勝報告

免責事項等

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。
投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容と異なる可能性もございます。
予めご了承ください。

【IRのお問合せ】

IR・ブランディング室 Mail : ir@cresco.co.jp
TEL : 03-5769-8058